

## SRAが米国 Solix Technologies Inc. 製品を日本で展開

---

株式会社SRA(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:石曾根 信、以下SRA)と Solix Technologies Inc. (本社:米国カリフォルニア州サンタクララ、CEO:Sai Gundavelli、以下 Solix 社)は、Solix 社の提供する「Solix Common Data Platform(CDP)」を日本で販売することで合意しましたので、発表いたします。

あらゆる業界においてDXへの対応が求められるなか、SRAはデータドリブン経営を支援するソリューションとして、Solix 社の「Solix Common Data Platform(CDP)」をお客様に提案・提供することにいたしました。「Solix Common Data Platform(CDP)」は、Enterprise Data Archiving と Enterprise Data Lake を実現する先進的な製品であり、この導入によりデータドリブン経営が可能となります。

Solix 社は、創業以来一貫してエンタープライズデータマネジメント分野におけるリーダーとして数々の革新的なソリューションを提供しています。Amazon Web Services、Microsoft Azureなどをクラウドパートナー、また Oracle、SAPなどを技術パートナーとし、米国を中心に大企業、中堅企業をターゲットとしたビジネスを展開しており、数多くの導入実績を有しています。これらの実績は日本の企業にとっても大いに有効活用できるものと考えられます。

SRAは、日本における販売代理店として12月に Solix 社と契約し、2020年1月からSRAをはじめとするSRAグループ各社により、『データドリブン経営を支援するソリューション』として提供を開始する計画です。

### ■製品概要

「Solix Common Data Platform(CDP)」の Data Lake は、構造化データと非構造化データを保存できる統一されたリポジトリを提供します。データをそのままの形で保存できるため、より汎用的なデータを分析・活用できます。

また、ソーシャルデータ、IoT デバイスデータなどの非構造化データと、基幹システムの構造化データをより具体的な方法で視覚化する機能を提供します。

さらに、Data Archiving ではアーカイブされた Oracle EBS、SAP、Siebel などの基幹システムのデータや帳票をそのままの形で参照することが可能です。

これらの機能により、以下の様な活用も期待できます。

- ・基幹システムのデータ量増加によるパフォーマンス低下への対策
- ・基幹システムをクラウド移行する際の履歴データの保存環境
- ・システム移行に伴うテストデータ生成

■Solix Technologies Inc. について

本社： 4701 Patrick Henry Dr., Bldg 20, Santa Clara, CA 95054.

CEO: Sai Gundavelli

2002 年設立

Telephone: +1-408-654-6400

URL: <https://www.solix.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社SRA 産業第2事業部 営業グループ 溝口

Telephone: 03-5979-2651 E-mail: [solix-info@sra.co.jp](mailto:solix-info@sra.co.jp)

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。